

昔懐かしい温泉街で ゆったり滞在できるよう

NPO 法人 千年の湯 吉岡温泉



川谷 行孝 さん
Yukitaka Kawatani

豆田 孝男 さん
Takao Mameda



「温泉の神」 弁天様のほこらを新調して設置しました

千年続く吉岡温泉で

約千年前に「葦岡長者^{あしおか}」によって開かれたとされる吉岡温泉は、湯温53度、毎分800トンと全国でも有数の湧出量^{ゆうしゅりょう}を誇る温泉地です。しかしながら、旅館の廃業などもあって、せっかくの温泉の湯が余ってしまう状態となっています。

NPO（注）発足のきっかけとなったのは、その豊富な温泉の活用策でした。数年前、市の事業として、お客さんが利用しやすい外湯（公衆浴場スタイルの温泉）を整備する計画を町

内で検討しました。残念ながら、設置する場所や温泉のスタイルについて意見がまとまらず、外湯は実現しませんでした。計画を練る段階で、施設の管理主体としてNPOを立ち上げる話が進んでいたのです。

「以前は吉岡温泉も繁盛していたことを覚えています。だんだん寂れていく状態を『やんぬるかな（どうしようもない）』という気持ちで見えていました。そんなときにせっかくできかけたNPOをつぶしてしまうのはもったいない。吉岡温泉の活性化のためにできることをやろう

ということとで結成したのです」と理事長の豆田孝男^{まめだ たかお}さんは経緯を話します。平成17年に県の認可を受け、「NPO千年の湯 吉岡温泉」は活動を始めました。

地域と連携して活動

吉岡温泉のまちづくりの取り組みはNPO発足の前から始まっています。「最初のきっかけは、景観づくりに補助金が出る県の『まちなみ整備コンテスト』でした。私がおかみさんたちのセンスに任せて計画を作ってもらって応募した

ところ、平成14年度に採用になったんです。それ以来おかみさんたちがまちづくりに主体的に取り組んでくれるようになりました。今でもNPOと連携して、ホテル祭りや温泉街のパフレット作成にも取り組んでくれています」と副理事長の川谷行孝^{かわたに ゆきたか}さんは振り返ります。

吉岡温泉旅館組合との連携も欠かせません。「リクエストがあれば、病院などに温泉を出前しています。旅館組合から提供していただいた温泉をタンクに入れて持っていくん

（注）ボランティア活動などの社会貢献活動を行う、営利を目的としない団体の総称。

佐治天文台長

こうさいひろぎ
香西洋樹の「暗い夜空が教えるもの」

Vol.24 夜空が教えてくれる

「世界遺産が夜空から消える！」

「人類の文化遺産が、もう見えなくなる！」

とても残念ですね。幸い、私達の時代には、夜空に残った文化遺産を何とか見ることができましたが、次の世代に引き継ぐことができなくなっているとしたら、その責任は重大です。さらに、宇宙の始まりを追求しようとしているのが天文学ですが、夜空が明るくなったためにこの天文学の手立てが遥か彼方へと遠ざかってしまい、科学の進歩に大きな妨げとなっています。このことは、人類が地上に生まれてから待ち続けてきた我々の過去、現在、そして未来へと続く疑問の解決への道が途切れることになりかねません。

夜空の明るさは、浪費されるエネルギーの量を示しています。地上から上空に放出される光の量と地上の空気中に含まれる微細なチリやガスの量に比例して、その中に含まれている炭酸ガス（二酸化炭素＝CO2）の量も増し、人類の健康問題にも関わっているのです。

夜空が泣いています。ソラ・クライ。本来、夜空は暗いものです。佐治町が実施しているキャンペーンで、夜空から泣き声が消え、暗い夜空になる日を楽しみに行動しましょう。

※佐治町ソラクライプロジェクトのポスター



StarWorld
見上げてごらん



つけかえてくれています。その散歩道に合うように、もみじを植えようと考えています」

です。先日は『以前吉岡温泉に行ったことがある』という患者さんのリクエストで病院に温泉を持っていたところ、とても喜んでもらえた」と豆田さん。さらに、川谷さんも「地元の『明日の湖南を考える会』が地域の公園に『俳句の散歩道』を作り、3カ月に1回俳句を

と続けます。地域で活動する団体とのこうした連携が、吉岡温泉を少しずつ元気にしていきます。ながとうりゅうとうじば

長逗留の湯治場

もともと吉岡温泉は、長逗留が主体の湯治場でした。

豆田さんは「温泉は1日だけ入って体調が良くなるものではないんです。長く滞在してゆっくり楽しんでもらえるよう、仲間と侃々諤々しながら考えます。今年は、地域の人から農地の提供を受けたので、雪解けとともにブルーベリを植え付けます。オーナー

制の観光農園を整備するんです」と教えてくれました。川谷さんも「昔の温泉場には帰ろう」がキーワードです。吉岡温泉には12軒の旅館があり、こごんまりとして昔懐かしい雰囲気です。ゆっくり滞在してそれぞれの旅館を楽しんでほしいですね。湖山池のほとりの防己城や矢矯集落にある天然記念物の大杉などを結んで、滞在中に楽しめるウォーキングコースを作りますそのコースの途中で、昨年3月にNPOが新調した双六原の『白蛇弁財天』のほこらを見ることが出来ますよ」と付け加えます。

メンバーが増えて

観光農園の整備を控え、NPOの活動は大きく飛躍しようとしています。

「現在メンバーは12人ですが、参加したいと言っていただけの人がたくさんおられます。地域の人だけでなく、なたでも入ってもらってかまいません。義務感など持たず、楽しんで活動していきたいです」と豆田さん。

山陰道の整備を控え、吉岡温泉の活性化に弾みがつきそうな予感がひしひしと伝わる取り組みに注目です。